

岩手県自殺予防情報センター ニュースレター



第 44 号 平成 22 年 11 月 9 日発行

発行:岩手県精神保健福祉センター 岩手県自殺予防情報センター (担当:大澤・小館)

このニュースレターは自殺対策に関わる担当者、関係者の方々に配信しています。皆様からの情報やご意見をお待ちしております。また、配信先を募集しております。関係者や機関の方々のご紹介をお願いいたします。

心が疲れている・心の病気で悩んでいるときは … ご自身が所属する機関の保健管理センター・保健センターへ、一般の方は当センター「こころの電話相談」へご相談ください。

こころの電話相談:

☎019-622-6955

受付:月~金 9:00~16:30

NEWS 今年度後半、さらなる取り組みを

盛岡市で 10 月 19 日に岩手県自殺対策推進協議会が開催されました。警察統計によると本県の 9 月末時点の自殺率は 27.5 人で全国ワースト 2 位となっています(1 位は青木ヶ原樹海がある山梨県の 30.2 人)。総数も 366 人で、北東北 3 県では最多です。全国の自殺者は減少傾向にあり、9 月末時点では青森県 352 人(前年同期比 57 人減)、秋田県 282 人(同 46 人減)と減少していますが、本県は横ばい(同 4 人減)であり、このままいくと自殺率ワースト1になる可能性があります。自殺対策を真剣にやってきた方にとっては非常に残念に感じられていると思いますが、その取り組みがあるからこそ、ここまで維持しているといえます。

今まさに課題に直面していますが、現状の資源で優先的にすべきことは明確です。「久慈モデルの推進」と「ゲートキーパーの育成・相談支援体制の推進」の継続です。技術的な面では、地域に介入ノウハウもあります。市町村単位のデータも昨年度分から参照できるようになりましたので、地域での対策に活用できます。(次頁の資料参照)

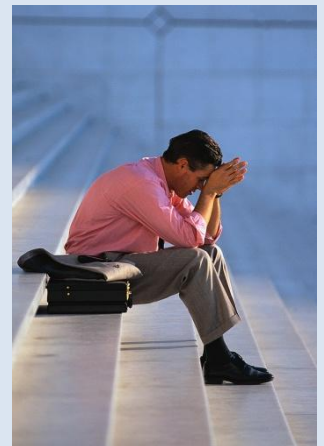
県全体の推進には精神保健福祉領域の枠を越えた取り組みが必要です。一部の人の取り組みでどうなるものではありません。全ての分野の人が関わり、やるべきことをやれば、経済状態が変わらなくてもくい止められる可能性を先進事例が示しています。年末に向けては、これまでも増して困窮者や雇用関係の各窓口におけるきめ細やかな配慮が必要です。各地域関係部署でのさらなる働きかけをお願いします。

NEWS 性暴力とメンタルヘルス

これまでの調査によると、強姦被害者の約半数が PTSD(post traumatic stress disorder)を発症すると言われています。また自殺念慮、企図を呈する割合は、被害を受けた事のない人達に比べると有意に高い事が知れています。さらに子どもが被害を受けた場合、女兒ではその後、自傷などの激しい行動化の繰り返しや、重篤な精神症状を呈します。このことは精神医療・心理領域では良く知られていることです。一方、男児の場合は、自殺関連行動の他、様々な非行や犯罪を促進する場が指摘されています。あらゆる被害男性が加害側に回るということではありません。しかし、幼少時に性被害を受けながら、その後性加害者になった者とならなかった者の分岐点は、「被害体験を話し、信じてもらい、支援を受ける事ができるかどうか」という点が大きいという専門家の意見もあります。つまり加害者側の性被害体験を取り扱う事なしに、十分な再犯予防効果は上がらない可能性があります。

「男女間における暴力に関する調査」によると、調査対象女性 1675 人中 7%(123 人)に性暴力を受けた経験があり、うち、60%が誰にも相談しておらず、警察へ相談した人は 4%に過ぎませんでした。すなわち認知されず警察が関与していない事例は多いという事です。実際に医療保健従事者は、犯罪被害者等基本法、DV 防止法等の正式なケアルートの狭間からこぼれるケースに複数関わっている場合が少なくありません。岩手県では中絶事例も問題です。しかしながらこのような法からこぼれる対象を焦点とした、早期のサポートの検討、警察との連携や実態把握は十分ではありません。このこと背景には、イメージの誤解や、日常的にポルノグラフィーが存在し多くの男女がそれを享受するという社会状況の中で、被害者本人が、周囲や医療従事者に切り出しにくいことが挙げられます。さらに、医療者・研究者側にとっては、テーマを通常の方法で問題分解できない、できたとしても臨床場面から解決できないような取り扱いの困難感があります。ある研究者の表現を借りれば、精神医療領域の中でも「暗黒大陸」になります。(次頁に続く)

内閣府の自殺対策ページ
内閣府_政策統括官 共生社会
政策担当_自殺対策
<http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/index.html>



性暴力被害者のこころのケア研修会
・情報提供 佐々木由佳先生
(県立中央病院精神科)
・講演「性暴力被害者のこころのケア」中島聡美先生
(国立精神・神経医療研究センター)
日時:11/19(金) 19:00~21:00
会場:岩手県医師会館
4 階ホール
問合せ:019-629-9616(前川)

大きな困難に見舞われた人が、自殺に傾くことなくその人らしい良い人生を再構築するには、地域にどのような工夫が必要でしょうか。ラインができると多少実態が見えるようになります。岩手県では、いわて被害者支援センターが窓口の中核として機能しています。重篤な精神疾患を呈し治療が必要になった場合、女性患者の多くは、女性精神科医によるケアを希望します。しかし岩手の場合、閉鎖病棟での入院ケアが可能な女医は極めて限られた人数です。11月19日に開催する研修会では、この地域の現状と制限の中で、現実的な資源や課題を確認します。極めて多忙な中、多くの産婦人科等、医療関係者の方々の参加予定もいただいております。まだ席がありますので、行政・関係機関の方の参加もお待ちしています。

資料紹介 市町村単位のデータを参照できます 内閣府「平成21年 地域における自殺の基礎資料」

この資料は、地域における自殺の実態に基づいた対策が講じられるよう、内閣府自殺対策推進室において、警察庁の平成21年自殺統計データ(平成22年1月末暫定値)を集計・分析・公表したものです。この資料のポイントは以下の通りです。

- ・市区町村単位に至るまで行政区分に応じた集計を行っています。
- ・「発見地」データと「住居地」データの2通りの集計を行い、地方公共団体ごとに自殺者の出入状況の把握が可能になっています。
- ・地方公共団体ごとに月次で集計を行い、月次での推移の把握が可能です。

内閣府 HP 内の自殺対策ページにて公開しています。各地域での分析等にご活用下さい。

フィールドレポート 自殺対策に関わる団体の活動紹介No.10

◎久慈市「こころとからだの相談センター」

このセンターでは、心や体の悩みや生活上の不安を抱える市民の相談・支援を行っています。平成22年10月13日に久慈市保健センター内に開所されました。市のメンタルヘルスサポーター養成講座受講者によって結成された「ここからの会(会員16名)」のボランティアスタッフが相談員を務めています。会員2~3人が常駐して、相談者の問題解決に向けて共に考え、医療機関や支援窓口などを紹介します。相談は面談で行いますが、事前に電話で予約を受け付けます。対面相談は毎週火、水曜の午前9時から正午までで、久慈市民の方が対象となります。今後のセンターの発展を期待しています。

インフォメーション

★一関市精神保健福祉シンポジウム～自殺のない地域をめざして～

日時:平成22年11月30日(火) 12:30~15:45

会場:一関文化センター大ホール ※展示室にて精神関係施設等の紹介も行います

内容:・第1部 基調講演「生き心地のよい地域をめざして～自殺対策に必要なこと～」

〔講師〕NPO法人 自殺対策支援センター「ライフリンク」代表 清水康之氏

・第2部 シンポジウム テーマ「気づき・見守り・支えあえる地域をめざして」

主催:一関市、精神保健福祉シンポジウム実行委員会

★アルコール関連問題研修会(第2回)

アルコール問題を抱えた人を精神医療機関へどうつなぐかの研修は過去にもされていますが、退院後に当事者会等と連携した取り組みをどう維持するかが今回のテーマです。

日時:平成22年12月3日(金) 13:30~16:45(受付13:00~)

会場:いわて県民情報交流センター(アイーナ)812研修室(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

対象:(1)県及び市町村職員(諸相談担当者等) (2)精神保健医療・福祉関係者 (3)自助グループ関係者 (4)その他アルコール関連問題に関心のある関係者

内容:・講演「アルコール依存症者を支えていくために」(仮題)

〔講師〕久里浜アルコール症センター 中山秀紀先生(ご存じ今年3月まで盛岡市立病院に勤務されていた先生です)

・グループワーク

★自殺対策に係る看護職研修会

日時:平成22年12月4日(土) 10:40~12:00

会場:二戸地区合同庁舎大会議室 対象:行政・医療機関に勤務する看護職

内容:講演「一般医療機関におけるうつ病へのアプローチ」

〔講師〕独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 自殺予防総合対策センター適応障害研究室長 稲垣正俊先生

平成21年地域における自殺の基礎資料

http://www8.cao.go.jp/jisatsutai/saku/kyouka_basic_data/h21/chiiki.html



問合せ先:久慈市保健推進課
0194-61-3315



清水さん、今年度2度目の来県です。

問合せ先:一関保健センター
0191-21-2160(担当:菅原)

問合せ先:
岩手県精神保健福祉センター
019-629-9616(担当:前川)

問合せ先:二戸保健所
0195-23-9206(担当:中野)